

(別紙4)

公立病院改革プランの概要

団 体 名		平塚市					
プ ラ ン の 名 称		平塚市民病院将来構想					
策 定 日		平成 20年 11月 26日					
対 象 期 間		平成 18年度 ~ 平成 23年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	平塚市民病院					
	所 在 地	神奈川県平塚市南原1-19-1					
	病 床 数	506床					
	診 療 科 目	内科 消化器科 精神科 神経内科 循環器科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 心臓血管外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 歯科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心して生活できるような救急体制の整備 ・わかりやすくかかりやすい高度な専門医療の提供 ・地域医療全体のレベルアップと連携型医療の実現 ・小児周産期医療における地域の中心的な役割を担う 					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療を確保するために要する経費で不採算になる費用 ・保健衛生行政事務に要する経費 ・周産期医療等に要する経費で不採算になる費用 ・高度医療の運営で不採算になる費用 ・建設改良にかかる企業債の元利償還金の2分の1 					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	99.3	100.3	102.0	101.7	101.3	単位:%
	医業収支比率	92.0	91.7	93.3	93.0	92.9	単位:%
	職員給与費比率	57.7	56.6	56.2	56.3	56.2	単位:%
	病床利用率	70.8	90.0	91.0	92.0	93.0	単位:%
	患者1人当たり診療収入(入院)	45,911	47,886	48,237	48,528	48,812	単位:円
	患者1人当たり診療収入(外来)	10,396	10,278	10,289	10,289	10,291	単位:円
上記目標数値設定の考え方		経常黒字化の目標を平成20年度に設定し、以後は維持をしつつ更なる向上を図る。					
					団体名 (病院名)	平塚市民病院	

公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	年延べ入院患者数	129,487	128,115	129,539	130,962	132,748	単位:人
	年延べ外来患者数	262,361	259,860	261,080	261,080	258,640	単位:人
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間の経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援のための委託料計上(平成21、22年度) ・地方独立行政法人化の研究(平成22、23年度) 				
		事業規模・形態の見直し	地方公営企業法全部適用を実施し、事業管理者を設置する(平成22年度)				
		経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務の包括契約やPFI導入の研究と実施(平成23年度) ・臨床検査業務の委託化(平成22年度) 				
		収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の強化(地域連携室の改組)(平成21年度) ・経営企画担当の設置(平成22年度) 				
		その他	・バランストスコアカードの採用(平成21年度)				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	80.40%	18年度	72.40%	19年度	70.80%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<p>当院は506床の病院であるが、平成16年度より50床休床させ450床で稼働している(病床利用率は500床で計算している)。</p> <p>平均在院日数は減少傾向にあったが、平成20年度よりDPCに移行しさらに進むと想定されるため、一般床を390床にする。</p> <p>平成23年度から新棟の整備が開始され、その中で救急病床10床、集中治療室10床を整備する予定である。整備が完了する平成27年度には、一般床390床 救急病床10床、集中治療室10床、感染病床6床、合計416床となる予定である。</p>					
		団体名 (病院名)		平塚市民病院			

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	<p>当院の属する医療圏においては、22の病院が配置され、急性期、亜急性期、慢性期がバランスよく機能している。</p> <p>この医療圏内では、高度救命救急センターである東海大学附属病院があり、当院は8病院ある2次救急病院の一つとしてその役割を担っている。</p> <p>また、ごく近隣に当院と同規模同機能を持った平塚共済病院がある。</p>	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	<p>当院が設置されている神奈川県では、「神奈川県保健医療計画」を策定し、平成20年度から平成24年度の5年間の重点施策として、疾患別の医療連携体制の構築や総合的な救急医療体制の整備充実を掲げている。</p>	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<p><時期></p> <p>平成20年度</p> <p>平成21年度</p>	<p><内容></p> <p>計3回の県主催の意見交換会の中で、「公立病院改革ガイドラインへの神奈川県における取組方針」が定められた。</p> <p>必要に応じて「県関係市連絡会議」における協議を進める中で、具体的な調整が必要であれば、「地域検討会議」を立ち上げるようになった。</p>
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に入力を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に入力を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<p><時期></p> <p>平成21年度</p> <p>平成22年度</p> <p>平成22、23年度</p>	<p><内容></p> <p>地方公営企業法全部適用への移行準備 事業管理者の設置</p> <p>地方独立行政法人化についての研究</p>
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	<p>病院運営審議会(市議会議員、医師会代表、市民代表委員で構成)による点検・評価</p>	
	点検・評価の時期(毎年 月頃等)	<p>毎年度7月に開催される定例会</p>	
その他特記事項			

(別紙)

団体名 (病院名)	平塚市民病院
--------------	--------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	8,288	8,927	9,106	9,235	9,346	9,446
	(1) 料 金 収 入	8,032	8,672	8,806	8,935	9,041	9,142
	(2) そ の 他	256	255	300	300	305	305
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	1,235	1,230	1,165	1,155	1,145	1,138
	(1) 他会計負担金・補助金	1,050	1,040	1,030	1,020	1,010	1,003
	(2) 国 (県) 補 助 金	27	26	25	25	25	25
	(3) そ の 他	158	164	110	110	110	110
	経 常 収 益 (A)	9,523	10,157	10,271	10,390	10,491	10,584
	入	1. 医 業 費 用 b	9,428	9,705	9,932	9,898	10,050
(1) 職 員 給 与 費 c		4,891	5,147	5,152	5,188	5,264	5,307
(2) 材 料 費		2,486	2,550	2,646	2,679	2,714	2,745
(3) 経 費		1,618	1,633	1,763	1,668	1,725	1,794
(4) 減 価 償 却 費		405	352	344	335	319	295
(5) そ の 他		28	24	28	28	28	28
2. 医 業 外 費 用		530	520	306	288	263	275
(1) 支 払 利 息		259	246	232	217	200	190
(2) そ の 他		271	274	75	71	63	85
経 常 費 用 (B)		9,958	10,225	10,238	10,186	10,313	10,444
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	-435	-68	33	204	178	140	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	80	115	91	92	92	94
	2. 特 別 損 失 (E)	122	164	128	128	128	154
	特別損益 (D) - (E) (F)	-42	-49	-37	-36	-36	-60
純 損 益 (C) + (F)	-477	-117	-4	168	142	80	
累 積 欠 損 金 (G)	-2,236	-2,353	-2,357	-2,189	-2,047	-1,967	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,168	2,714	2,730	2,762	2,835	2,811
	流 動 負 債 (イ)	751	915	895	875	853	849
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	0	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.6	99.3	100.3	102.0	101.7	101.3	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(イ)}{(ア)} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	87.9	92.0	91.7	93.3	93.0	92.9	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(C)}{(a)} \times 100$	59.0	57.7	56.6	56.2	56.3	56.2	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{(a)} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	72.4	70.8	90.0	91.0	92.0	93.0	

団体名
(病院名)

平塚市民病院

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度 区分		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企業債	0	0	0	0	287	1,715
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	13	0	3	3	3	0
	7. その他	2	2	2	2	2	2
	収入計 (a)	15	2	5	5	292	1,717
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	15	2	5	5	292	1,717	
支 出	1. 建設改良費	150	150	150	309	266	1,992
	2. 企業債償還金	234	248	262	277	293	303
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	59	34	22	32	32	202
	支出計 (B)	443	432	434	618	591	2,497
差引不足額 (B) - (A) (C)		428	430	429	613	299	780
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	428	430	429	613	299	780
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	428	430	429	613	299	780
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)		0	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)		0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E) - (F)		0	0	0	0	0	0

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	(0) 1,050,000	(0) 1,040,000	(0) 1,030,000	(0) 1,020,000	(0) 1,010,000	(0) 1,003,000
資本的収支	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
合計	(0) 1,050,000	(0) 1,040,000	(0) 1,030,000	(0) 1,020,000	(0) 1,010,000	(0) 1,003,000

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。